

すとおりは、自主製品の製造・販売やリサイクルセンターを運営する就労継続支援B型と、依存症からの回復プログラムなどを学ぶ生活訓練からなる、多機能型の依存症回復施設です。アルコールや薬物、ギャンブルなどをやめる意志がある仲間の居場所となっています。

今号では「子どもの頃の夏の思い出」「大掃除」「バースデー行事」をテーマにご報告させていただきます。

1【すとおりの夏の大掃除】

今年も猛暑の中、リサイクルセンターを閉めて大掃除を、8月12日、13日の二日間行いました。また、2階にはロッカーやミーティングなどを行う共有スペースや生活訓練の部屋があり、そこも計画的に行いました。

今回はコロナの影響で密にならないように、2班に人を分けて、作業の配置も工夫して、センターを営業していると出来ないところを中心に掃除をしました。センターの天井やエアコン、食器や雑貨を陳列している什器の棚、センター内外の床、全てのガラス窓などを丁寧に拭いていきます。例えば、食器棚の什器を掃除する時は、まず、一番上の棚から食器を1枚ずつ降ろして、その棚を拭き、先ほど降ろした食器を1枚ずつ丁寧に乾拭きして元の位置に戻します。それを、全ての棚の掃除が終わるまで繰り返すのです。このように、他の箇所も隅々まで行いました。

しかし、センターの看板やテントは、人手が足りずに手を付けることができませんでした。ここは、9月にセンターを開けながらモップやウエスを使って掃除する予定です。

半年に1回ですが、日頃の感謝を込めて一生懸命おこないます。メンバーの皆さんからは以下のような感想がありましたので、ここに紹介いたします。

- ・Yさん：冷蔵庫やロッカーの上の物が、日頃からスッキリしているので掃除がやりやすかった。
- ・Iさん：身体が動かなくて年を感じた。ホワイトボードの黒ずみの落としが大変だった。
- ・Kさん：生活訓練の部屋の掃除は上手いかったが、多目的室の掃除は床が石鹸でベトベトになり上手いかなかった。またモップのバケツを階段でこぼしてしまった。
- ・Nさん：デッキブラシで床を磨いたが、多目的室の床に洗剤が残ってしまったのは残念だった。
- ・Oさん：床の洗剤の拭き取りの意識が低かった。きちんとやれば良かった。
- ・Mさん：大掃除に遅刻したのが心残りである。大掃除は2回目だったのでだいぶ慣れてきた。
- ・Tさん：掃除して棚に食器を綺麗に戻したら、スペースができた。
- ・Iさん：食器を棚の元に位置に戻すのが大変だった。
- ・Hさん：気を付けていたのに、お皿を割ってしまった。

上手いかなかったところもありましたが、それを次回に活かそうとする姿が依存症からの回復の姿と重なり、嬉しく感じました。



2【子どもの頃の夏の思い出】

Hさん

夏の思い出といえば、海ではなく川遊びでした。

近所の大人、子どもたちで畑の中を歩いて行くのがとても楽しみでした。鍋を持ち、ジャガイモ、キュウリ、ナスの漬け物、おにぎりなどを持って皆で行くのがとても楽しかったです。

川につくと、石や薪を拾ってきて、火をおこします。そこに鍋をかけて、ジャガイモを茹でて食べる。これがとても楽しみでした。川に入って水で遊び、体が冷たくなったら石に寝転んで、とても楽しい一日でした。帰りは、みんなで歌を歌って帰りました。

それと、グラウンドでやる映画も楽しみの一つでした。ゴザを敷いて、お菓子を食べたりして、とても懐かしい思い出です。

盆踊り、ジャンガラと、今思えば、私にとっては、本当に楽しい思い出ばかりです。このころに戻れば、戻りたいと思います。



Kさん

僕の夏の思い出といえば、やはり海や山に行くことでした。なぜかという、出身が新潟県だったので、自然がたくさんあるところだからです。

少年時代には、自転車で2時間かけて海に行っていたのを思い出します。

18才になり、車の免許を取ってからは、みんなで車に乗り込んで、楽しくバーベキューをしたり、花火を見に行ったりしました。男女混合でも遊んだりしたのを覚えています。最高に楽しかったです。

その時に聞いていた音楽や持っていた物、着ていた服を思い出すと、すごく懐かしい気持ちになり、青春だったのかな、なんて思ったりすると少し寂しい気持ちもしたりしますが、自分の中では満足しています。

あと、少し欲を言えば、もっと勉強していれば大学に行ったりできたのにな、と思ったりします。以上、僕の夏の思い出でした。

Nさん

私が生まれたのは、昭和32年、父母姉私の4人家族でした。

子どもの頃の夏休みの思い出といえば、砧(きぬた)公園でよく遊んだことです。朝5時に起きて、クワガタやカブト虫をよく取りに行きました。

それを虫かごに入れて、スイカを食べさせて育てました。

また、プラモデルを作るのが好きで、自動車、戦車、飛行機などを作りました。お年玉を使って買っていました。

ほかには、友達とサイクリングで、羽田空港までよく行っていました。約20キロぐらいありました。最初はママチャリでしたが、中学生になってスポーツサイクルを買ってもらいました。5段ギア付きでしたので快適でした。空港では、飛行機をよく見ていました。飛行機が離陸するところがカッコ良かったです。

その他、家族で東北の松島に旅行に行ったことが思い出されます。島と島の間を船でめぐりました。風景がとてもきれいで、感動しました。



はさん

子どもの頃の夏の思い出と言えば、夏休みの事ぐらいしか思い出しません。

朝はラジオ体操に行き、その帰りには、川の淵にあった大きな柳の木を足で蹴り飛ばすと、カブト虫やクワガタがポロポロ落ちてきて、それを捕まえては、友達と戦わせて遊んでいました。昼になると、川に泳ぎに行っていました。その道すがら、とうもろこしやじゃがいも、トマトやキュウリをよその畑からパクって、昼飯代わりにしたりしていました。

自分たちが泳ぎに行くところは、山の湧き水でとても冷たくて、水もとても澄んでいるところでしたから、イワナやヤマメなどがたくさんいて、それを友達とつかみ取りして、焼いて食べたりしていました。2、3匹は家に持ち帰って、晩飯のおかずだと言っては母に褒められたものでした。これがほぼ毎日の日課でした。これが子どもの頃の夏の思い出です。



3【コロナで中止されていたバースデーの再開】

すとおりにでは毎月の恒例行事として「バースデー」を行っています。ところが前年度から新型コロナウイルスの流行により中止していました。今年度から感染対策を行った上でやっと再開されました。メンバー、スタッフの手洗いうがい、部屋の換気、消毒、ソーシャルディスタンスを実行し、机には仕切り版を立てています。

8月のバースデーの司会は初めてのメンバーでした。数日前にスタッフと一緒に司会の練習をして、本番では落ち着いてしっかりと司会の役目を果たすことができました。

まず最初にいつも「ハッピーバースデーの歌」を皆で歌います。名前を呼びかけるところは「Happy birthday dear 仲間～♪」と歌います。そしていつも心温まるのが一人一人の「お祝いの言葉」です。順番にメンバーの良いところや好きなところや祝福の言葉を述べ合い、聞いていると心がほんわかと温かくなるひとときです。

8月のバースデーで印象に残ったお祝いの言葉は、現在就労に向けて、週二回仕事をしながら通所しているメンバーへのお祝いの言葉です。「Yさんは就労に向けての仕事と、すとおりの通所をしっかりと両立されていて素晴らしいと思います。僕もYさんを見習って就労を目指していきたいと思います。おめでとうございます。」という言葉でした。

皆で励まし合い、時には冗談を言いながら笑い合ってお祝いし、一層仲間としての絆が深まる毎月のバースデーは、すとおりの大切な行事の一つです。



4 【リサイクルセンターのマネキンさん】

リサイクルセンターの店内にはマネキンが3体あります。週に一度メンバーとスタッフで「マネキンさんに何着せようか?」「あーでもないこーでもない」と言いながら楽しくコーディネートして着替えさせています。

季節に合わせて着物や浴衣を着せることもあります。着物の着付けに苦戦していると、お客様が着せるのを手伝って下さることもあり、とても有難いです。ぜひショーウィンドウや店内のマネキンをご覧になってみて下さい。

すとおりのInstagramにも写真を掲載しています

<https://www.instagram.com/storiesakurashinmachi/>



5 【メンバー状況(令和3年9月現在)】

- ・生活訓練 3人 ・就労継続支援B型 11人
- <男女構成>
- ・男性 12人 ・女性 2人
- <年代>
- ・30代 1人 ・40代 3人 ・50代 7人 ・60代以上 3人
- <アディクション>
- ・アルコール 11人 ・薬物 3人 ・ギャンブル 2人 (重複あり)

- ・就労した者 1人 (令和3年4月1日より)

6 【編集後記】

9月の声を聞いた途端、急に涼くなりました。例年よりも暑い日が続いた夏のコロナの中、みんな元気になりました。

7月8月にかけて、コロナのワクチンを世田谷区の巡回接種により、ほとんどの利用者が受けることが出来ました。予約を取ることにあぐさせず済んだので、とても助かりました。

いつまで、緊急事態宣言が続くのでしょうか。楽しみにしていたアルコール薬物施設連絡会の交流会や、フェスティバルも中止です。地域のねぶた祭りも中止です。我慢の生活が続きます。

このような状況下であります。毎日、目の前にある課題を淡々とこなして、「今日一日」を大切に過ごしていきたいと思えます。

7【会員募集のお知らせ】

特定非営利活動法人STORYの趣旨にご賛同、ご支援頂ける会員の方を募集しています。

①正会員 : 当法人の目的に賛同して入会される方および団体
入会金 5,000円
年会費 3,000円

②賛助会員 : 当法人の事業を賛助するために入会される方および団体
入会金 3,000円
年会費 1,000円

郵便振替口座

口座番号 00100-3-591769

口座名義 特定非営利活動法人STORY